

想青学園  
(前期課程)

## 学校生活についてのアンケート調査結果

福山市教育委員会事務局  
管理部学校再編推進室

2023年（令和5年）7月

## 目 次

1	アンケート調査の概要	1
2	アンケート調査の結果	
	(1) 考察及び今後の取組	
	ア 児童	2
	イ 保護者	3
	ウ まとめ	6
	(2) アンケート集計	
	ア 児童	7
	イ 保護者	9
	ウ 主な記述回答	10
3	アンケート内容	18

## 1 アンケート調査の概要

### (1) 目的

少子化に伴い学校が小規模化する中，子どもたちに主体的・対話的で深い学びを通して，必要な力「21世紀型“スキル&倫理観”」を育むことができるよう，一定の集団規模のより良い学びの環境づくりのため，学校再編に取り組んでいる。

2022年（令和4年）4月に開校した想青学園（前期課程）において，児童及び保護者を対象に行った再編後のアンケート調査から現状を把握し，成果と課題を明らかにすることで，これからの取組に活かしていくものとする。

### (2) 対象者（2023年（令和5年）3月時点）

	対象者数（人）	回答者数（人）	回答率（%）
児童	349	307	87.97
保護者	349	250	71.63

### (3) 調査方法

児童・・・学校で担任の先生の説明を聞きながら，学習用端末を活用して回答  
学習用端末での回答が難しい児童は，アンケート用紙で回答

保護者・・・アンケート実施の依頼文に記載のURL，QRコードから回答フォームにアクセスし回答

### (4) 調査期間

2023年（令和5年）2月1日から同年2月14日まで

## 2 アンケート調査の結果

### (1) 考察及び今後の取組

#### ア 児童

##### ◆学校生活について

- 「学校が楽しい・どちらかと言えば楽しい」 93%

##### ◆授業について

- 「新しいことを知ったり，調べたりすることが楽しい・どちらかと言えば楽しい」 92%
- 「自分で考えたり，友だちと話合ったりすることが楽しい・どちらかと言えば楽しい」 95%
- 「『分かった』『できた』と実感することがよくある・どちらかと言えばある」 88%

#### (学校生活)

- 9割以上の児童は「学校が楽しい」と答え，その理由は「友だちの数が増え，活動できる範囲が広がったから」「みんなで分からないことを考えたり，一緒に遊んだりできるから」「後期課程の人と交流できるから」「S O S E I 学で色々な地域のことを知ることができたから」「新校舎でわくわくする」などであった。

環境が大きく変化した旧内浦・内海・能登原・常石小の児童（2～6年生）については，98%が「楽しい」と回答し，その理由は「多くの友だちと遊べる・学べる」「楽しく勉強できる」などであった。

- 一方，1割弱の児童が「学校が楽しくない」と答え，その理由は「苦手な子がいるから」「勉強が進んでいないから」「勉強が苦手だから」などであった。
- 児童の多くは学校生活を楽しく感じており，新しい環境にも馴染んでいることが分かる。新しい友だちと一緒に学習したり遊んだりしながら，広がった校区のことを楽しく学んでいる様子が伺える。

1・2学期は前期課程と後期課程が別々の校舎で生活していたが，3学期からは新校舎での学校生活が始まり，義務教育学校のメリットを生かした集団づくりが進められる中で，子どもたちは伸び伸びと学んでいる。

- 楽しくないと感じている児童に対しては，その理由を踏まえ，担任が児童と話をするなど必要な対応を行っている。引き続き，子どもの様子を見ながら，対話を大切にされた個別の支援を行っていく。

#### (授業)

- 約9割の児童は「新しいことを知ったり，調べたりすること」や「自分で考えたり，友だちと話し合ったりすること」が楽しい，「『分かった』『できた』と実感すること」があると，肯定的な回答をしており，その理由は「班や友だちと勉強できて楽しい」「知らないことを知ることができて楽しい」「苦手な授業もあるけど知識を深めるのは嬉しい」などであった。
- 学校では，全ての学級で「子ども主体の学びづくり」に向け，友だちと対話し，

自分の考えを深めたり広げたりする授業づくりに取り組んでいる。校区の歴史・文化、産業、自然等を素材に探究的に学習する「SOSEI学」では、フィールドワークやインタビューを通して地域の人々と交流し、地域のためにできることを考え、実践することに取り組んでいる。子どもたちは、授業を楽しく感じ、学ぶ過程で「分かった・できた」と実感していることが伺える。

- 一方、約1割の児童が否定的な回答をしている。「もう少し調べ学習を増やしてほしい」「もっと発言しやすくしたい」などの理由であった。改めて、子どもたちの学ぶ姿を見る中で、SOSEI学や各教科をつながけながら、友だちとの意見の共有によって自分の考えを深められる授業、子どもが問いをもち、自ら解決に向かう授業など、子どもが学ぶ喜びを感じられる授業づくりに取り組んでいく。

### 記述回答

(想青学園で学ぶようになってから気が付いたこと(変化)、自分でも努力したこと)

- 「色々な友だちができたので授業が前よりもっと楽しくなった」「みんなと教え合っていて勉強することが楽しい」「SOSEI学でグループの人と協力したり、考えて工夫をしたりする努力をした」「人の話を聴くようにしたら話が理解でき行動できるようになった」などの意見があり、新しい友だちとの出会いを喜び、人間関係を作りながら、前向きに学校生活を送っていることが伺える。

(困っていること)

- 「スクールバスのときに悪口を言われた」「授業中にみんなの邪魔をする人がいるから集中できない」などの意見があり、状況を確認し、自分の言動を振り返り、考えさせるなど、必要な対応を行っている。

(前の学校の時よりも学校の規模(集団規模)が大きくなって(友だちの人数が増えて)、感じていること) ※2年生以上の旧内浦・内海・能登原・常石小児童

- 「友だちが増えて授業での学びが増えた」「話合いのとき、色々な意見が出て嬉しい」「人数が多くなって最初はびっくりしたけれど慣れてきた」「先生との関わりが減ったけれどその分自分で動けるようになった」などの意見があり、新しい環境にも慣れ、多様な友だちと関わり合い、学び合うことを楽しいと実感している様子が伺える。「いろいろな人がいて関わりづらい人も多くなった」「友だち関係が面倒くさい」という回答もあり、アンケート後すぐに話を聴くなど、個別に対応している。

### イ 保護者

- 「子どもは学校生活を楽しく過ごしている・どちらかと言えば楽しく過ごしている」 94%

(学校生活)

- 9割以上の保護者は「子どもが新しい学校を楽しく過ごしている」と回答し、その理由は「学校での出来事を毎日話してくれる」「帰ってきたときの表情がハツラツ

している」「新校舎になり、意欲的に行動する場面が増えた」などであった。

- 一方、1割弱の保護者は「子どもが新しい学校を楽しく過ごしていない」と回答し、その理由は「授業は楽しいが、うるさくて集中できない」「環境の変化に適應できていない」などであった。
- 保護者は、子どもから話を聞き、その表情や態度から、楽しく過ごしていると安心されたり、馴染めていないと心配されたりしていることが分かる。環境に馴染めていない児童には、引き続き個に応じた支援を行うとともに、他者を大切にする集団づくりを進めていく。

### 記述回答

(教育活動(授業、行事等の取組)について、良いと思うことや課題に思うこと)

- 良いと思うこととして「SOSEI学で、地元のことを理解し、学びが広がっている」「SOSEIナイトのように児童が主体となってイベントを計画実行し、その様子を地域の人にも披露することで、教育という現場をオープンにしており、良いと思った」「9年間を通して活動できる」「後期課程の生徒と休憩時間などに関わり合える」「中学校へ進学することへの不安なイメージをあまりもたずにすむ」「新しい校舎で伸び伸び過ごせる環境が整っていてよい」などの意見があった。

今後も、地域の方々の協力を得ながら、SOSEI学や各教科等の教育内容の充実を図っていくとともに、義務教育学校のメリットを生かした教育活動を進めていく。

- 一方課題と思うこととして「行事によっては後期と前期と分けた方がよいと思う」「7校が一緒になり、それまでやってきたことが少しずつ違うことがある。多数のものを当たり前として捉えられ、少数のものへの配慮がされていないことがある」などの意見があった。

学校行事の在り方については、全校で行うもの、前期・後期で分けて行うものなど、行事の目的や教育効果、保護者の意見等を踏まえる中で検討していく。また、全教職員が、再編する前の学校のやり方を当たり前としないことを改めて確認した。

(想青学園になって子どもたちが成長したと思われること、子どもたちが努力し克服したこと、その時保護者がされたかかわり(応援や励まし、教員への相談)など)

- 「多くの友だちの中で、人間関係を構築したり、コミュニケーションスキルを磨いたりしていると感じる」「自分で宿題の計画を立て、自分で頑張りたいことを考えてできるようになったので、自分もワーク等教材の準備などのサポートをした」「自己主張が出来るようになり、明るくなった」「友だちとの関わりに苦労していた様子だったので、いろいろな性格な子がおり、どう折り合いをつけて接していくか、一緒に話をした」「積極的に発表できるようになったこと、いろいろなことに興味をもって自分で調べられるようになったこと、学んだことを教えてくれるなど、成長したところはしっかり褒めるようにしている」などの意見があった。

子どもの成長を温かく見守り、頑張っていることをほめ、励まし、応援して下さっている保護者の姿が伺えた。

(今心配に思われていること、教育委員会や学校に知らせたいこと)

- 「家庭学習がほぼ自分で決めてやる形なので身につけていない」「勉強面に不安がある。自主性と言われるがなかなか身につかない。」「職員室が2階で1階事務室も無人の時間が多くセキュリティが心配」などの意見があった。
- 家庭学習は、教員が決めた宿題を出した上で、子どもたちに自分のやりたい内容を自主的に取り組むよう促している。また、一人一人の学習状況に応じた個別の対応も行っているが、引き続き子どもの様子を見ながら、必要な支援を行っていく。  
また、来校者は、事務室で受け付けをしてもらうこととしており、職員が不在のときは、インターフォンで呼び出しをしてもらっている。不審者対応の通報システムを整備するなど安全対策も行っている。地域や保護者の方々に気軽に来校していただける開かれた学校づくりを進めており、地域の協力もいただく中で、安心安全な学校づくりに取り組んでいく。

(前の学校よりも学校の規模（集団規模）が大きくなって感じていること) ※2年生以上の旧内浦・内海・能登原・常石小児童の保護者

- 「人数が多くなり、できる活動が増えて楽しそう」「色々な友だちと意見交換し、他者への気持ちが持てるようになった」「それぞれの旧学校の特色をもっと取り込んでほしい」「先生と保護者、保護者同士の関係が希薄になった」などの意見があった。
- 多くの保護者は、子どもが友だちと関わりながら成長している姿を通して、学校規模が大きくなったことを肯定的に捉えている。一方、教員との関わり、保護者同士の関わりが薄れてきていると感じているため、「かかわる つながる」ことを大切にした教育活動等を通して、交流を深めていきたいと考えている。

(教育活動を充実させるため、保護者（地域）としてどんなことができると思うか、また子どもたちの学びにどうかかわっていききたいか)

- 「町探検などに保護者も引率するなど、お手伝いできることは積極的にしたい」「保護者の得意分野、専門分野を活かして、子どもたちに教えるということができれば良い」「地域の安全、見守り活動、清掃活動、世代間交流」「コミュニティ・スクールについて、保護者・地域がついていけない」などの意見があった。
- コミュニティ・スクールは「学校運営協議会」を設置した学校であり、子どもたちがどのような課題を抱えているのか、地域でどのような子どもを育てていくのか、何を実現していくのか、目標やビジョンを共有し、学校・地域・保護者等が一体となって子どもたちを育てていくものである。多くの保護者や地域の皆さんに学校運営に参画していただき、教育内容の充実を図っていく中で、理解が進むよう取り組んでいく。

## ウ まとめ

子どもたちは、再編により目ざす姿である「多様性を認め合い、自ら考え、意欲的に学ぶ」ことに向け、地域の方々の温かい協力を得て、特色ある教育を行う中で、それぞれが努力し、着実に力を付け、成長している。

新しい環境になかなか馴染めない、友だち関係がうまくいかないといった子どももいるが、対話を大切にした個別の支援を行いながら、仲間づくりを進めている。

保護者には、授業参観や運動会など行事等を通して、積極的に活動に取り組んでいる子どもたちの姿を見ていただき、新しい環境に馴染もうと努力している子どもたちを応援していただいている。

想青学園は、「かかわる つながる」ことを大切にした学校づくりを進め、新教科S O S E I学では、内海・沼隈地域の多彩な地域資源を学習素材として、探究学習に取り組んでいる。また、コミュニティ・スクールを導入し、地域・家庭・学校が一体となって、教育内容の充実を図っている。

3学期からは、新校舎での学校生活がスタートし、全校児童生徒と教職員が日々の生活を同じ校舎で過ごす中で、小中一貫教育を効果的に推進できる義務教育学校のメリットを生かした教育活動を進めている。

教育委員会は、学校とともに、多様な友だちと学び合える環境だからこそ、すべての子どもたちが持っている「やりたい」「知りたい」という思いをより一層大切にしながら、一人一人の内発的動機に基づいた学力（認知・非認知能力）の向上を追求していく。



(2) アンケート集計

ア 児童

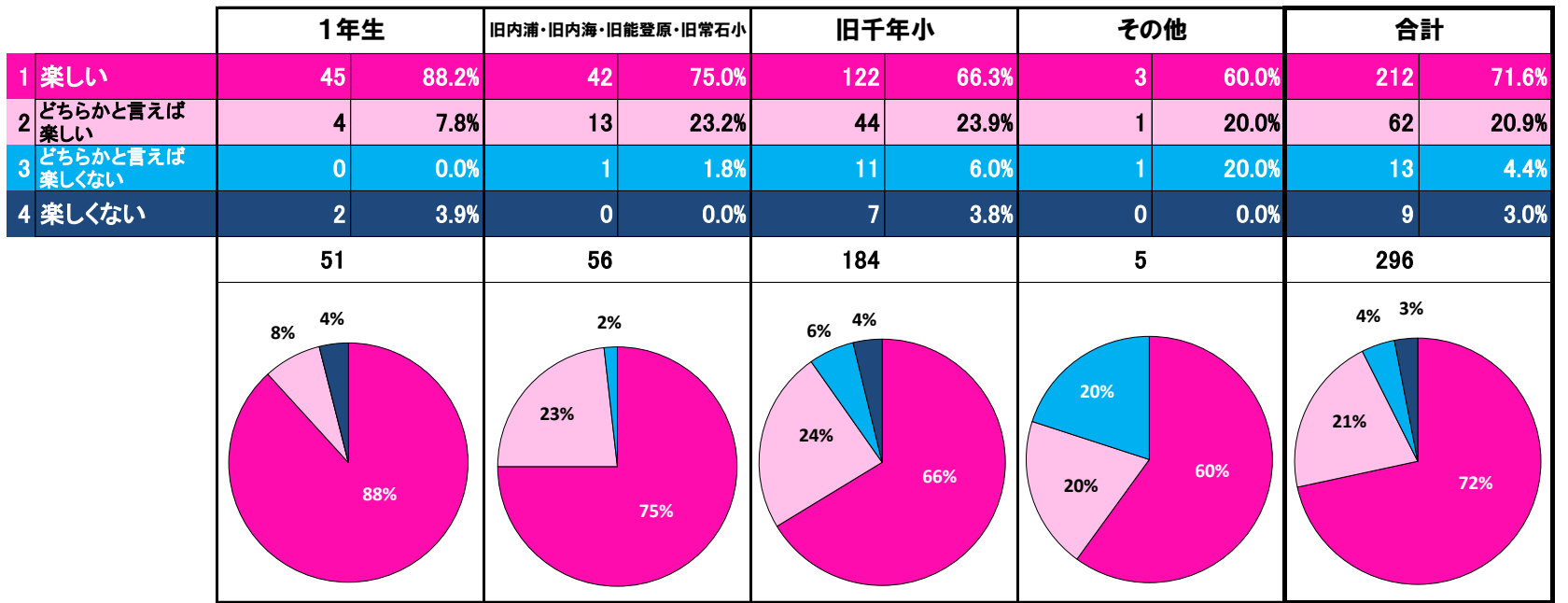
【グラフの見方】

※ 合計307人の児童が回答しています。

(1年生 61人／2～6年生 旧内浦小 0人, 旧内海小 26人, 旧能登原小 26人, 旧常石小 4人, 旧千年小 185人, その他(学区外) 5人)

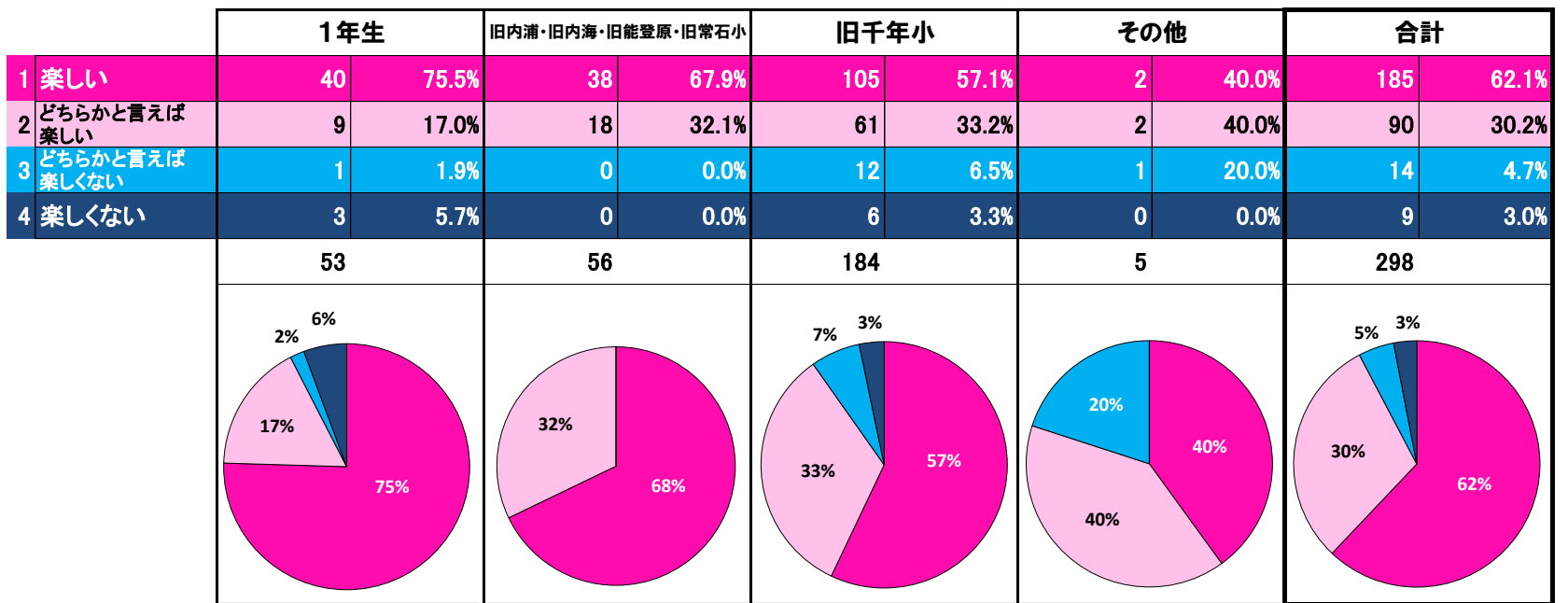
人数の差異は、アンケート用紙で回答した1・2年生児童が、1つの問いに「楽しい」「楽しくない」等の複数の回答をしたため

学校は楽しいですか。



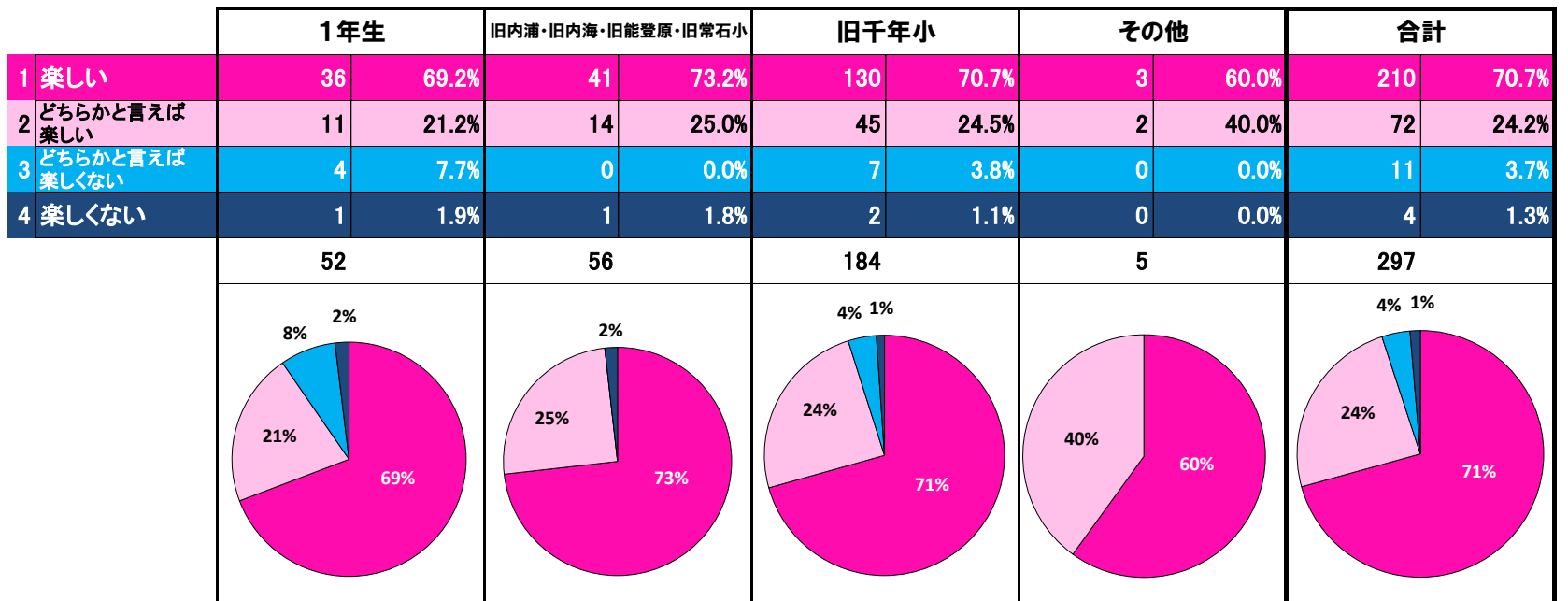
「楽しい」「どちらかと言えば楽しい」と回答した児童の割合は、全体の93%である。  
 「楽しくない」「どちらかと言えば楽しくない」と回答した児童の割合は、全体の7%である。

新しいことを知ったり、調べたりすることが楽しいですか。



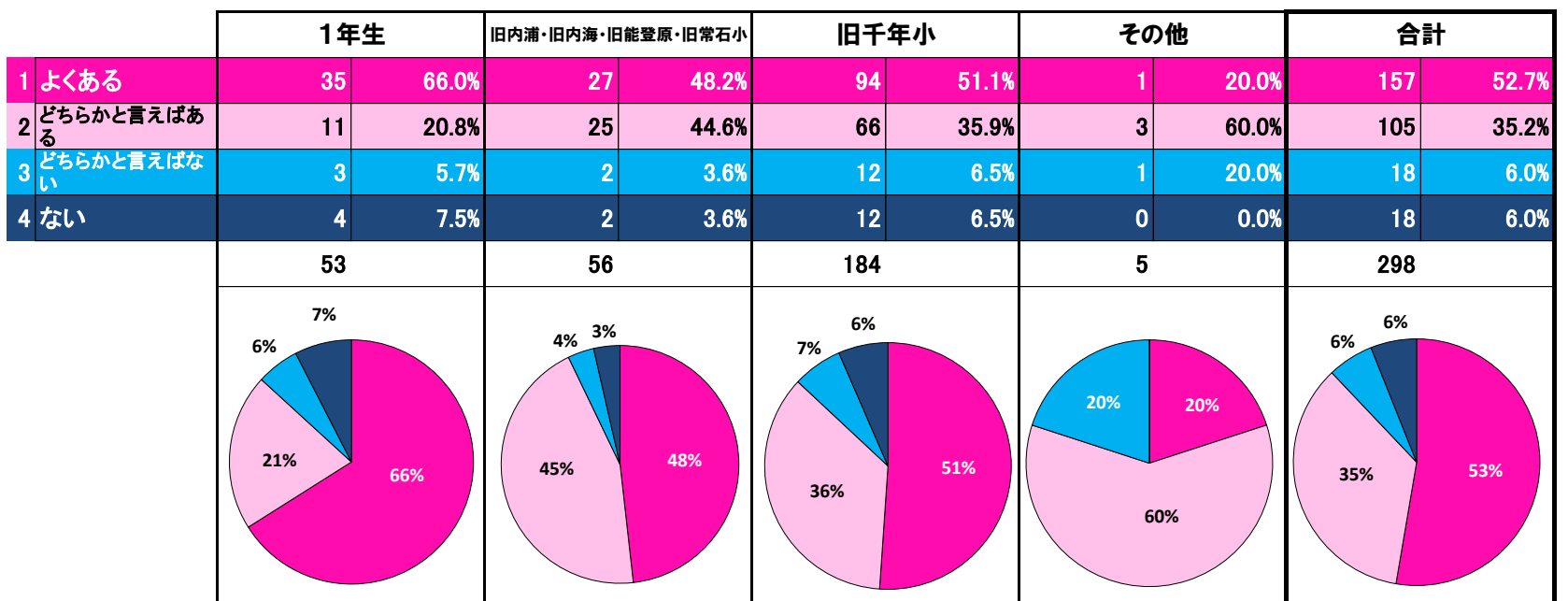
「楽しい」「どちらかと言えば楽しい」と回答した児童の割合は、全体の92%である。  
 「楽しくない」「どちらかと言えば楽しくない」と回答した児童の割合は、全体の8%である。

自分で考えたり、友だちと話し合ったりすることが楽しいですか。



「楽しい」「どちらかと言えば楽しい」と回答した児童の割合は、全体の95%である。  
 「楽しくない」「どちらかと言えば楽しくない」と回答した児童の割合は、全体の5%である。

「分かった」「できた」と実感することがよくありますか。



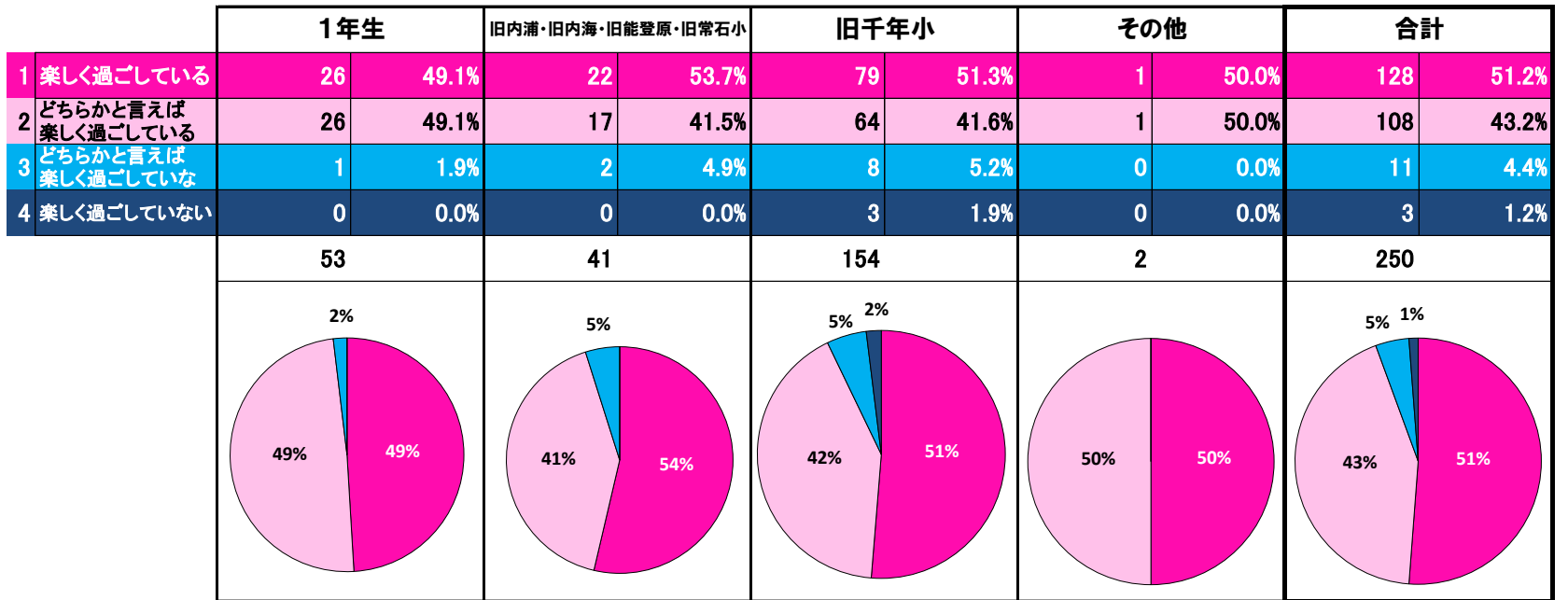
「よくある」「どちらかと言えばある」と回答した児童の割合は、全体の88%である。  
 「ない」「どちらかと言えばない」と回答した児童の割合は、全体の12%である。

【グラフの見方】

※ 合計250人の保護者が回答しています。  
 (旧内浦小 0人, 旧内海小 19人, 旧能登原小 19人, 旧常石小 3人,  
 旧千年小 154人, その他(学区外) 2人)

イ 保護者

子どもは学校生活を楽しく過ごしていますか。



「楽しく過ごしている」「どちらかと言えば楽しく過ごしている」と回答した保護者の割合は、全体の94%である。  
 「楽しく過ごしていない」「どちらかと言えば楽しく過ごしていない」と回答した保護者の割合は、全体の6%である。

## ウ 主な記述回答

### 児童

#### ■ 【全員】学校が楽しい理由

- ・気の合う友だちがいて、毎日笑顔でいられるから。
- ・仲良しな友だちができて、嫌なことがあっても相談にのってくれるから。
- ・友だちが優しいから。
- ・他の地域のみんなど遊べるから。
- ・友だちの数が増え、活動できる範囲が広がったから。
- ・みんなで分からないことを考えたり、一緒に遊んだりできるから。
- ・後期課程の人との交流ができるようになったから。
- ・新しい事を知れるし、たくさんの意見を聞けるから。
- ・テストでハラハラドキドキしたりするのは楽しいし、友だちとお喋りするのも楽しいから。
- ・新しいSOSEI学という授業も増え、色々な地域のことをもっと知ることができたから。
- ・新校舎でわくわくする。言語や社会のメディアがあるから。
- ・学校も広いし、体育館や図書館も広いから。

#### ■ 【全員】学校が楽しくない理由

- ・クラスに問題のある児童が多くて毎日落ち着きがない。
- ・授業が面倒くさい。
- ・色々な先生が来るのが緊張するから。
- ・勉強が全然進んでない。プリントばかりされている。
- ・苦手な子がいるから。

#### ■ 【全員】授業についての思いや考え

- ・とても楽しくて、もっと学んでいきたい。
- ・楽しい授業や班・友だちと楽しい勉強ができて楽しい。
- ・ちゃんと先生の話を理解できたらおもしろい。
- ・考えをいうのがはずかしいけどおもしろい。
- ・分からないところを先生に教えてもらえるから、色々なことが分かる。
- ・授業は苦手なものもあるけど知識を深めるのは嬉しい。
- ・知らないことを知ることができて楽しい。
- ・一人で勉強する自由進度学習が好き。
- ・もう少し調べ学習を増やしてほしい。
- ・もっと発言しやすくしたい。先に答えを言うことをやめてほしい。
- ・プリントばかりされてる。勉強が全然進んでない。
- ・授業中に友だちと知らない話をしたり、タブレット端末を触っていたりする人がいるのでやめてほしい。
- ・1組と2組のルールを平等にしてほしい。

## ■ 【全員】 想青学園で学ぶようになってから気が付いたこと（変化）、自分でも努力したこと

- ・わたしは手を挙げるのがすきになりました。
- ・想青学園になって努力を積み重ねるようになりました。
- ・自分よりレベルが高い人がたくさんいることが分かって、このままじゃだめだなと思った。
- ・忘れ物があまりなくなった。
- ・自分から進んで発表をした。
- ・コミュニケーションを高めることを努力した。
- ・集中してできるようになった。諦めないようになった。
- ・苦手な子とも友だちになることができた。
- ・他の人のことを考えることができるようになった。
- ・前の学校だったら中学生とも会わずに生活していたけど、中学生と一緒に学校になったので、中学生とも挨拶をするように努力した。
- ・想青学園になって色々な友だちができたので、授業が前よりもっと楽しくなった。
- ・みんなと教えあって勉強したりすることが楽しい。
- ・たくさんの意見を聞くことによっていろいろな考え方ができる。
- ・S O S E I 学（総合的な学習の時間）で、グループの人と協力をしたり、考えて工夫をしたりして努力をした。
- ・自主勉強をする内容が深くなった。
- ・後期の人たちをよく見かけてかっこいいなと思った。
- ・休憩時間に理科メディアに行ったり昔の遊びをしたりするから、楽しく学習できる。
- ・人の話をよく聞くようにするようしたら、話しがよく理解できてすぐ行動できるようになった。
- ・学校を綺麗に使う。

## ■ 【全員】 困っていること

- ・スクールバスのときに悪口を言われた。
- ・学校が広すぎて場所が分からなくなる。
- ・色々な人に会うから、どのように話したらいいか分からない。
- ・授業中にみんなのじゃまをする人がいるから集中できない。
- ・友だち関係が少し困っている。

## ■ 【2年生以上の旧内浦小・旧内海小・旧能登原小・旧常石小の児童】 旧小学校よりも学校の規模（集団規模）が大きくなったが、どのように感じているか

- ・友だちが増えて前より楽しくなった。
- ・前の学校よりは騒がしくなったけれど、たくさんの人と交流できるから楽しい。
- ・前の学校より思いやりのある人が多いし、人数が多いので楽しい。
- ・友だちが増えて授業での学びが増えた。
- ・今までより口数が増えたと思った。

- ・いろいろな人の考えを知ることができる。
- ・相談する人が多くなって話しやすい。
- ・休憩時間・大休憩・昼休憩の時間をよく友だちと過ごすようになったと思う。
- ・人数が増えたから話し合ったときいろいろな意見が出て嬉しい。
- ・人数が多くなって、最初はびっくりしたけど慣れてきた。
- ・1学年に〇〇人しかいなかったから先生と1対1で学ぶことが多かったけど、人数が増えて、先生との関わりが減ったけどその分自分で動けるようになった。
- ・嫌なことや恥ずかしいと思う場面もあるけれど楽しい。
- ・たくさんの人と友だちになることができ良かったけど、前の学校のほうが、年上の人と仲良かったかもしれない。
- ・いろいろな人がいて関わりづらい人も多くなったけれど、楽しいので仕方がないことだと思っている。
- ・友だち関係が面倒くさい。
- ・周りで自分の悪口を言われているように感じる。
- ・前よりも少し人数が多くなったので、狭いから前の学校の方が良かったなと思った。

## 保護者

### ■ 【全員】子どもが学校生活を楽しく過ごしていると思う理由

- ・新しい友だちができたから。
- ・学校での出来事を毎日話してくれる。良い事も悪い事も自分から話して来るので充実していると思う。
- ・先生とのやりとりの話を聞くなど、先生とも話しができるようになり、友だちとも遊んだりする中で自分を出すようになったから、とても楽しそう。先生に認められて期待されていることを感じているからだと思う。
- ・新校舎になり、意欲的に行動する場面が増えた。1学期は学校に行きたくないと言っていたが、2学期になり言わなくなった。
- ・毎朝元気に学校へ出かけて行くから。
- ・帰ってきたときの表情がハツラツとしているから。
- ・休みが嫌い。学校へ行きたがる。
- ・好きな教科があるから。
- ・日常生活において学級も仲良く、担任の先生が児童主体の学びを進めていることで楽しく過ごしている。またSOSE I学での地域探究学習では、興味・関心をもち、グループで仲間と協働しながら楽しんで取り組んでいたと感じた。
- ・校舎も新しくなり色々な部屋があり楽しめる。
- ・新しい校舎をととても喜んでいる。
- ・早く後期課程になりたいとウキウキしている。

## ■ 【全員】子どもが学校生活を楽しく過ごしていないと思う理由

- ・授業はすごく楽しいが、周りがとてもうるさく集中できないから。
- ・たまに学校に行きたくない、学校がおもしろくない、嫌いな子がいるから嫌だと言うときがあるから。
- ・一部の同級生たちと上手く関係が築けず、家で、落ち込んだりイライラしていることが多い。
- ・担任と反りが合わず、学校に行きたがらない。子ども同士は仲が良いようで、それだけが唯一の救い。
- ・環境の変化に適応できていない。

## ■ 【全員】良いと思うこと

- ・友だちが多い方が行事などいろいろなことが楽しめるとよく言っている。
- ・SOSEI学という独自の教科があり、子どもの学びが広がっているように思う。
- ・SOSEI学は、地元のことを理解できるいい機会だと思う。
- ・SOSEI学は、子ども達が率先して調べたり、プレゼンしたりすることで、人前で喋る力が付くので良いと思う。
- ・SOSEIナイトのように児童が主体となってイベントを計画実行し、その様子を生徒保護者だけでなく地域の人にも披露することで、教育という現場をオープンにしており良いと思った。
- ・内海に行き、海の生き物観察をするなど、校区の地域全体で活動できて良いと思う。
- ・パソコンを用いて調べたり発表したりする機会があること。
- ・学校を欠席したときのリモート授業が上手く機能していて、休んでいても授業を受けられる環境がとてもいいと思う。低学年のクラスに補助の先生がいることが良いと思う。
- ・再編されたことにより、いろいろな地域の友だちができた。刺激になったと思う。
- ・9年間を通して活動できる。
- ・後期課程の生徒と休憩時間などに関わり合えることや、後期課程の様子が知れること。今までのように、中学校へ進学することへの不安なイメージをあまり持たずに済むような気がする。
- ・中学生のお兄ちゃんたちも仲良くしてくれるので、面倒見のいい子が多いなと感心した。
- ・新校舎での生活が始まって、他学年との接点がこれまで以上に多くなったことは、子どもたちにとっても新たな刺激となっているのではないかと感じる。
- ・担任の先生がちゃんと見てくれているのが分かる。楽しく勉強しているのが参観日などで伝わる。
- ・教室が明るく、先生と生徒の関係性もよく、授業にも集中できると思う。行事は子どもたちの意見を取り入れながら、地域の人たちとの交流もでき、良いと思う。
- ・いじめ問題の対応が早いし、気にかけていること。
- ・子どもたちみんながかん拾いをしたり清掃をしたりしているのが良いと思う。
- ・日常的に縦割りの交流があるのが良い。

- ・新しい校舎になって、自由にのびのび過ごせる環境が整っていて良いと思う。子どもも、新しい校舎をととても気に入って喜んでいる。

## ■ 【全員】課題と思うこと

- ・行事時の駐車場の数。
- ・行事によっては後期と前期と分けた方がよいと思う。
- ・小中一貫校という特徴があまりわからなかった。
- ・通信簿がない。
- ・子どもに自主性のみを押し付けると、ついていける子とそうでない子の差が明らか。
- ・基礎学力がついているのか不安。
- ・宿題を子どもに任せすぎていてどう勉強したら良いか本人が分かっていない。
- ・授業においていかれがち。
- ・S O S E I 学の時間が多すぎるのではないか。
- ・授業の開始と終了の合図は集団行動に必要なだと思う。
- ・子どもたちは、新しい学習にも柔軟に対応していると思うが、保護者の方が、未だに教育の変化に対応しきれないと感じることが多い。
- ・7校が一緒になり、それまで使っていたものが少しずつ違うことがある。その中で、多数のものを当たり前として捉えられ、違う子への配慮なくされていることがある。当たり前と捉えず、事前に確認や詳しく知らせるなどしてほしい。
- ・6年生が年長者でなくなり、6年生としてのリーダー活動が少なく見えたのが寂しかった。
- ・運動、体力作りにも力を入れてほしい。
- ・年間の行事予定が度々変更になっていること。行事の連絡が遅すぎる。せめて1か月前には連絡がほしい。

## ■ 【全員】想青学園で学ぶようになって子どもたちが成長したと思われること、子どもたちが努力し克服したこと、そのとき保護者がされたかかわりなど。

- ・多くの友だちの中で、人間関係を構築したり、コミュニケーションスキルを磨いたりしていると感じる。
- ・自分で宿題の計画を立てることができるようになって、自分に足りないところ、頑張りたいことを自分なりに考えてできるようになり、私も頑張りたいことが分かったので、それに向けた勉強や取組の準備（ワーク等の教材の準備など）ができて良かった。
- ・子どもがS O S E I 学の授業に力を入れていた。休みの日にも班の子と情報収集に出かけたり、パワーポイントの編集をより良くしようと私たちに意見を聞いたり、自分で調べたりと努力していた。
- ・最初はやる気がなかったが、新しい校舎になり、図書館が大きくなり、本の数や種類が増え、嬉しそうだった。自主学習をがんばるようになり、先生も褒めてくれたらしく、ありがたかった。
- ・授業で分からなくて困っている子に教えてあげられるようになった。



- ・友だちとの関係性がよくなり、自己主張ができるようになり、明るくなった。集中力が身についてきた。
- ・友だち同士の関わりは、最初は恥ずかしそうで、友だちなんかできないと言っていたが、自ら声をかけてみた、声をかけてもらったなど聞くようになり、不安がなくなった。
- ・友だちとの関わりで、上手く行かないこともあったが、人間関係の構築が少しずつでき始めているように感じる。1年のときは休みがちだったが、2年生に進級してからは毎日が楽しいと言っている。環境の変化も大事なのだと思った。
- ・友だちとの関わりに苦労していた様子。いろいろな性格の子がおり、どう折り合いをつけて接していくか、一緒に話をした。
- ・人前で話すことなどが苦手だったが、積極的に発表できるようになっていることを嬉しく思う。そのことを一緒に喜び共感している。
- ・自分から進んで立候補できるようになった。色々なことに興味を持って、自分で調べるようになった。
- ・下級生への気配りや関わりが増えた。挨拶や感謝の言葉が増えてきていると感じられる。挨拶の大切さは折に話している。
- ・学んだこと、知ることができたことを家に帰って教えてくれる。成長したところはしっかり褒めるようにしている。
- ・以前と比べて大きく変わったところはないように感じる。子どもたちが各々新たな環境にも柔軟に対応していっているのだと解釈しているが、今後、悩みや問題を抱えたときに見逃さないよう見守っていきたいと考えている。
- ・通学路が変わっても、保護者として気をつけることなどを伝えて、本人も理解して安全に通学できた。

## ■ 【全員】今心配に思われていること、教育委員会や学校に知らせたいこと

- ・新しい環境に慣れにくい子への配慮をしてもらいたい。
- ・今のクラスはよくても、次のクラスでどうかわからない不安が親としては大きい。他の学年で授業が成り立っていない噂を聞いているため。
- ・学習の進め方。理解できてなくても、授業は進んでいく。パソコンの使用法。家庭学習がほぼ自分で決めてやる形なので、身につけていない。
- ・勉強面に不安がある。宿題も少なく自分で文章を書く機会が減っている。自主性と言われるがなかなか身にはつかない。後期課程にあがっても授業や課題などこなせるか不安がある。通知表もあった方がよい。
- ・自分で取り組んでいる分、何をしているか親は見えていない。
- ・想青学園の校則を作ってほしい。茶髪の子もいるので学校のイメージがものすごく悪い。周りの子達が影響を受けてしまっているのでは何とかしてほしい。
- ・新しい校舎の職員室が2階で、事務室に誰もいないことが多いので、不審者対策などが不安。
- ・6年生になったら、後期課程と同じ階に教室を設けることには大反対。
- ・バスの中で子ども達の態度が非常に悪い。立っている子もいる。会話の内容もいじめに近いことがたくさんあるようだ。

- ・下校時のバスの待ち時間が長い。学年の下校時刻が違うのは分かるが、1年生が2年生を待ったりするなら教室できちんと待たせてほしい。今は待ち時間にバス停で遊んでトラブルになったり、バス停で机もないのに宿題をしたりしている。バス停の近くは駐車場になっているが、走り回ったりして危ない。低学年が心配。
- ・特別支援学級が十分に支援されていない。
- ・人数が増えて、指導が行き届いていないように思う。
- ・沼隈駅伝に参加いただきありがとうございました！また来年もお願いします！

**■ 【2年生以上の旧内浦小・旧内海小・旧能登原小・旧常石小の児童をもつ保護者】  
旧小学校よりも学校の規模（集団規模）が大きくなったが、どのように感じているか**

- ・人数が多くなるとできる活動が増えて楽しいそうだ。
- ・人数が増えたことにより、色々な友だちと意見交換し、他者への気持ちを持てるようになった。
- ・人数が多い方が色々学べるので良いと思う。少人数だと視野が狭くなるし、何かあったときの逃げ場がなくなるため。
- ・自分の居場所を確保できているようで良かった。中には、自分の居場所を確保できない子どもの話を良く聞く。自分の子どもの場合は、学校以外の子どもとの関わりの経験が多にあるからだろうと思う。
- ・初めは色々な友だちがいて、友だち関係がなかなか上手くいかなかったよう。今までとやり方が違う部分もあり、本人も困っていた。今は、集団の規模にも少しずつ慣れてきたよう。少人数も大きな規模も、どちらにもよい面があると感じる。
- ・集団に馴染むのに時間がかかったが、少しずつ慣れ、新しい友だちからの刺激も多く受けている様子。先生も多く名前や担当クラスなど、分からないことが多く、保護者も含め、もっと関わりが持てたらと思う。人数が多い分、個々の取組状況の把握ができていないことがあるのが心配。行事のお知らせなど、もう少し早めに知らせてもらえたらありがたい。千年小で行われていた方法が当たり前のようにされ、説明が少ないと戸惑うことがあった。複数校の集まりという認識を持って対応していただけると、戸惑いも少なくなると思う。
- ・それぞれの旧学校の特色をもっと取り込んでほしい。
- ・小さい集団で保護者全員が子どものことを知っていて、保護者同士のつながりもあったが、規模が大きくなるとつながりも薄れてきたのが寂しい。
- ・先生と保護者の関係が希薄。きちんと見てほしい。
- ・子どもは少人数の方がいいと言っていた。部活の数も増えていないため残念。

**■ 【全員】コミュニティ・スクール（学校運営協議会の設置）について、教育活動を充実させるため保護者（地域）としてできること、また、子どもたちの学びにどのように関わっていききたいか。**

- ・私たち大人が、子どもたちに学ぶことの楽しさや大切さを教えたいと思う。
- ・保護者や地域から情報を求めるだけでなく、学校が年間の指導計画を示し、保護者や地域に協力を求め、体制を整えていってはどうか。

- ・模擬店やステージを設置して、地域を含めてフェスをやりたい。
- ・地域の様々な保育園や施設と交流をもたせたい。
- ・特に内海町は高齢者や一人暮らしの方が多いため、公民館や高齢者施設に行つての交流があればいいと思う。
- ・内海での自然体験や民泊体験。
- ・能登原とんどの学習と参加。
- ・町探検など、先生だけでなく、保護者も引率するなど、お手伝いできることは積極的にしたい。
- ・保護者の得意分野、専門分野を活かして子どもたちに教えるという場ができれば良い。
- ・体験学習や授業参観の場では保護者も一緒に体験したり勉強したりするのも良いと思う。また保護者だけではなく、地域の方も一緒にできたらいいと思う。
- ・一緒に勉強していきたい。問題を作ったりしたい。
- ・地域の人に、地域を知っていくための講師はもちろん、学習支援ができる方がいればそういう活用もあったらよい。
- ・働いている人が多いと思うので、その経験を伝えたり教えたり、パソコン関係の仕事をしている方にパソコン教室などを開いてもらう。子どもたちが地域の方と交流するときに、親も一緒に参加できたりするといい。
- ・先生だけに頼らず、できることはみんながそれぞれ協力すれば、大体のことは解決できるし、挑戦もできると思っている。子ども自身ができることは遠くで見守り、できないことは少し手を貸してみるというように、自立した子どもになるよう、ほどほどの距離間がかかわっていきたい。
- ・子どもたちのやりたいことを見守り、支援・協力していきたい。
- ・地域の安全。見守り活動。
- ・地域の清掃活動。
- ・世代間交流。
- ・コミュニティ・スクールという言葉だけが先走り、保護者や地域がついていけない。

### 3 アンケート内容

想青学園（前期課程児童）

#### ◇学校生活についてのアンケート（児童対象）

名前（記入）・学年と旧学校名（選択）

このアンケートは、皆さんが、想青学園で楽しく過ごしているか、困っていることはないかを教えてもらうために行うものです。

これからの取組に活かしていきますので、思ったとおりに教えてください。

#### ◆学校について

《全児童》

○学校は楽しいですか。（選択肢4つ）

楽しい・どちらかと言えば楽しい・どちらかと言えば楽しくない・楽しくない

★楽しい・どちらかと言えば楽しい を選択した児童への問

○楽しい理由を教えてください。（記述）

★どちらかと言えば楽しくない・楽しくない を選択した児童への問

○楽しくない理由を教えてください。（記述）

#### ◆授業について

《全児童》

○新しいことを知ったり、調べたりすることが楽しいですか。（選択肢4つ）

楽しい・どちらかと言えば楽しい・どちらかと言えば楽しくない・楽しくない

○自分で考えたり、友だちと話し合ったりすることが楽しいですか。（選択肢4つ）

楽しい・どちらかと言えば楽しい・どちらかと言えば楽しくない・楽しくない

○「分かった」「できた」と実感することがよくありますか。（選択肢4つ）

よくある・どちらかと言えばある・どちらかと言えばない・ない

○授業について、思いや考えがあれば、自由に書いてください。（記述）

#### ◆再編について

《2年生以上の児童》

○想青学園で学ぶようになってから気が付いたこと（変化）、自分でも努力したことなどを教えてください。（記述）

○今、困っていることがあったら教えてください。（記述）

《2年生以上の旧内浦小・旧内海小・旧能登原小・旧常石小の児童》

○前の学校よりも学校の規模（集団規模）が大きくなって（友だちの人数が増えて）、どのように感じているか教えてください。（記述）

◇学校生活についてのアンケート（保護者対象）

名前（任意）・子どもの学年と旧学校名（選択）

子どもたちの様子や保護者の思いを把握する中で、課題への対応など今後の取組に活かしていくため、アンケートを実施します。

いただいた御意見は、アンケートの目的以外には使いません。御協力よろしく願いいたします。

◆**学校生活について**

《全保護者》

○子どもは学校生活を楽しく過ごしていますか。（選択肢4つ）

楽しく過ごしている・どちらかと言えば楽しく過ごしている・どちらかと言えば楽しく過ごしていない・楽しく過ごしていない

★楽しく過ごしている・どちらかと言えば楽しく過ごしている を選択した保護者への問

○楽しく過ごしている理由を聴かせてください。（記述）

★どちらかと言えば楽しく過ごしていない・楽しく過ごしていない を選択した保護者への問

○楽しく過ごしていない理由を聴かせてください。（記述）

◆**教育活動について**

《全保護者》

○学校の教育活動（授業、行事等の取組）について、良いと思うことや課題と思うことなどを教えてください。（記述）

- ・良いと思うこと
- ・課題と思うこと

◆**再編について**

《2年生以上の児童の保護者》

○想青学園で学ぶようになって子どもたちが成長したと思われること、子どもたちが努力し克服したこと、そのとき保護者がされたかかわり（応援や励まし、教員への相談）などを聴かせてください。（記述）

○今心配に思われていること、教育委員会や学校に知らせたいことがあったら教えてください。（記述）

《2年生以上の旧内浦小・旧内海小・旧能登原小・旧常石小の児童の保護者》

○前の学校のとときよりも学校の規模（集団規模）が大きくなりましたが、どのように感じているか聴かせてください。（記述）

◆コミュニティ・スクール（学校運営協議会の設置）について

《全保護者》

○想青学園は、コミュニティ・スクールとして、学校と地域が連携・協働し、学校教育目標「学びあい 育ちあう」のもと教育活動を推進し、子どもたちのより良い成長を促していきます。

- ・教育活動を充実させるため、保護者（地域）としてどんなことができると思いますか。また、子どもたちの学びに、どのようにかかわっていきたいですか。（記述）